

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



No.1140 2015年3月号

平成26年度国有林モニター会議を開催

2月27日、12名の国有林モニターの方が出席され平成26年度国有林モニター会議を開催しました。 【詳細は2頁】



国有林モニター会議の様子



国有林モニター会議のモニター皆様

開かれた「国民の森林」に相応しい管理経営を行なうため、一般市民の皆様から幅広い意見や要望等を伺うものです。本年度は四国在住の二六名の方に御願

いし
 ○ 実際の現場に行き、治山事業の状況や間伐事業で使われるプロセス等、見たことないことばかりで感動した。
 ○ 子どもたちへの森林環境教育については、一度だけではなく継続的に行った方が良いと思う。

平成二六年度国有林間伐推進コンクールにおいて、(有)式地林業が林野庁長官賞(優秀賞)を授賞され、一月二三日、林野庁で開催された授賞式において授与されました。このコンクールは、国有林の請負生産事業や立木販売により実施する間伐等に



二月二七日、四国森林管理局において、平成二六年度国有林モニター会議を開

催しました。国有林モニターの取組は、国有林野事業について

見については、これからの四国森林管理局の管理経営業務に活かしてまいります。

○ C L T活用等により、持続可能な林野行政を行ってほしい。
 ○ 大きな災害等について、国がもっているノウハウを活かしてほしい。

○ 林業も木材の海外輸出、バイオマス発電、C L Tなど明るい未来が見え出したと感じた。
 ○ バイオマス発電について、材料の調達計画等を確実にし、着実に推進してほしい。
 ○ 林業にも、もっと女性の活躍する場を増やして行けたら良いと思う。





受賞報告後、局長室で
【前列右側から、浅川局長、式地社長】

において、優れた品質で森林整備を行うとともに、高い生産性、効率的な作業システムのの取組等を行っている優秀な林業事業体を表彰するものです。併せて、その優秀な事例を公表すること

は、平成二五年度に徳島森林管理署管内の祖谷山国有林で実施した請負生産事業による間伐であり、四国森林管理局管内の林業事業体では、三度目の受賞となります。

は、平成二五年度に徳島森林管理署管内の祖谷山国有林で実施した請負生産事業による間伐であり、四国森林管理局管内の林業事業体では、三度目の受賞となります。

は、急傾斜地で地すべり等があり、作業道作設が困難な状況の中で、架線集材(集材機・ジャストIIキャレット)と高性能林業機械(プロセッサ、グラップル)の組み合わせにより、生産性の向上を目指した間伐事業を実施しており、以下の取組や成果が評価され、授



ジャストIIキャレット

賞されました。

- ① 集材方向に合わせた伐倒方向や残存木の保護等に留意した伐採木の選定を作業従事者全員に周知した作業の実施。
- ② H型集材を取り入れることにより残存木の損傷を最低限にとどめることが出来、併せて、荷掛手の移動距離を少なくすることにより労力を軽減。
- ③ スリングワイヤーにオートチョーカー(※注)を採用することにより荷卸場での作業効率の向上。
- ④ ①〜③の取組等により、従前に比べ、生産性を一・八倍に増加。
- ⑤ 次世代を担う若手の作

業従事者に対する架線に係る技術継承への取組み。

(注) オートチョーカー…スリングワイヤーに取り付け、荷卸場で木材が地面に接地し、ワイヤーが緩むと自動的に外れる装置。



担い手育成(指導)